

夕刊 磐城時報

編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一部金貳圓 一月金卅圓
廣告料 一行十二字 卅日五圓
日刊(日曜祝祭日) 卅日五圓

初代警視署長は

八巻前福島署長

柴田前平署長は 保安課長に榮轉

平警察署長警部柴田鶴作氏に棚倉、飯坂、植田、喜多は警察部保安課長に榮轉、方、平を繼て新課長になつた。柴田署長は警部補補給員義典氏は警部補の四十六歳の働き盛りに昇進した。柴田署長はよりである。

警部補異動

「色々厄介になりました」本部には警部に任官した大正十五年時代二年間高平署勤務司法主任警部補齋藤三氏は郡山署に榮轉、後任に須賀川署巡査部長佐藤貞雄氏が警部補になつて今から出来るだけ働くと、柴田保安課長は栃木縣上郡川延夫氏は警部補になつて賀那落合村生れ大正七年春若松行、その後任に刑事課本縣巡查を拜命、十五年七勤務警部補佐藤弘氏が来る月警部に昇進、本部から更

警視署長となつた

平警察署の沿革

警視署長に昇格した平署は署となつたが附近炭礦の發見明治九年十二月縣令を以て展と人口増加につれ漸次機福島警察署平出張所と稱し構が改り現在署長以下七十現在の平市北目町に設けら五名となつた。今回更に警署に警部補の二郡を管轄視署長となり署員は十二名に始まるが、當時は署乃至十五名を増員する豫定長以下九名であつた。二十である。平署歴代署長左の二年二月磐城警察署となり如し。
更に二十九年石城警察署と改稱、三十九年七月平警察署、初代賀澤順三、二代鹿兒島鐵太郎、三代二瓶正雄

年高橋幾、同八年齋藤茂、同十年伊藤儀七、同十三年榎村慶、昭和二年猪狩清、同四年荒井市太郎、同五年榎村慶、同七年伊藤儀七、同八年小田部秀雄、同八年横山宗延、同十年柴田鶴作

福島炭礦 祝

四代井口速永、五代有馬純典、六代推原國太、七代富田善吾、八代大谷直信、九代弟子丸宗雄、明治二十四年高山喜英、同二十七年布田八太、同二十八年中町直敬、同三十一年丸野實行、同三十二年吉成成美、同三十四年小田原勇角、同三十六年寺本傳、同三十七年淺野虎吉、同年長東獅人、同三十八年小田原勇角、同三十九年齋藤春吉、同四十年荒正雄、同四年松井一男、同五年佐々木秀松、同七年

四倉町議選舉で

當選町議調べらる

悪質違反の嫌疑か

先程改選を行つた四倉町會平した國防婦人女給班辻小議員選舉で悪質違反事件が夜子、遠藤キヨ子外八名を發覺、四倉署では数日來開通ひ石城七瀨の景勝を案内係者九名を取調べ中であつて小名濱町に泊、折柄たが遂に當選町議某氏並に碓泊中の軍艦嚴島に便乗した、平警察署に召喚出張で監査に向つた。平の一行は、平警察署に召喚出張で監査に向つた。平の一行ををうけてゐる。

女給連

軍艦便乗

平西洋料理組合女給救養會では高橋組合長以下幹部に引率され仙臺市カフエ營業組合、三島組合長羽田、前田の兩副組合長と共に來

爆發した岩石の破片で 通行人が負傷

平署で責任者取調べ

六日午前十時四十分頃小名濱町小谷内内地内務省小名濱築港工事場で同町定西三六土工増測定(一八)が爆薬カトリット八百瓦を裝填した岩石爆發作業中岩石の破片が現場より約七十米離れた同町榮町一馬目安一氏住宅の屋根上に飛散し居室を破壊したが家人は無事であつた、又他の破片は同番地通行中の同町本町三一荷馬車業吉田安雄(四〇)の右足を當り全治十日間の裂傷を負はせた、平署で責任者増淵を引致し取調べ中である

平署で

チフス豫防

神谷村ではついでこの間一時に六名のチフス患者が出て一名は遂に死亡したが、蔓延の恐れあり村民の神経を尖らせたが、大体これで終熄の模様であるも梅雨前後は病魔の跳梁季だけに平市役所では例年の如く衛生上の注意書を市内に配布し市民の注意を喚起する事となつた。昨年炭礦地帯における大量の發生以來一般も大に警戒してゐる様だが充分な注意をなすべし。

夏井村議選舉

夏井村會議員改選は七日執行、當選者左の如し
四三久保木茂彌、四一木田増藏、三三渡邊文男、三三渡邊又三郎、三三阿部金二郎、三〇大和田清作、三〇若松貞造、四五矢吹彌右工門、三二酒井泰吉、三五古木半次郎、三二小林半治、三〇鈴木幸吉
次點 二八大友茂平、二八箱崎義範、二六鶴沼喜源

人絹工場に

停車場の陳情

錦村有志は同村に昭和入絹工場が出現して以來貨物と乗降客等の關係に就き植田六萬石を平年作とされた時勿來兩驛の調査を行つて來た結果同工場前に停車場設置の必要を痛感し過般來鐵道當局に運動中であつたが錦村でも村會の決議をへてこの程水戸運事をへて東京鐵道局に請願書を提出した一若し設置さるるとすれば貨

箕輪村當選者

箕輪村會議員は七日執行、結果左の如し
二〇小沼米造、二四高萩章、一八大和田利一郎、二〇高萩國太、一八高萩昌平、一八遠藤喜作、一若し設置さるるとすれば貨

物は一ヶ月石炭二萬噸、過燐酸三千五百噸、人絹五百噸の外晒粉硫酸等相當あり又乗降客も一日三千は下るまいと觀られてゐる。

木炭價暴騰

濱三郡の木炭は一昨年からの生産不足に祟られ現在の月産十二、三萬貫では需要の總計を上げてゐるが職業別に示せば求人、求職共に最も多いのは工業及び鑛業で希望児童の大部を片付けてゐるが、商店員の求人六名の如きは殆んど児童から省みられず求職僅かに五名の全就職に過ぎない。次へで稍均衡のとれてゐる

廣告

一男 見習工 數
一七才位の者
至急募集す
委細面談
加納活版所

加納活版所

ものは少數の戸内使用人で地方として甚だ物さびしいのは農林業方面に求人職共に皆無なる事である。
工業及鑛業求人男一二二女一九(男六七女二〇)就職男五七女一八土木建築求人男四(男一)就職男一商業求人男六三(男五就職五)農林業皆無
水産業求人男二(男一)通信運輸求人男四女一六(男三女九)就職男三女八
戸内使用人求人男一三女一六(男一五女九)就職男一五女九(男一五女九)就職男一三女二(女八)就職女四
以上括弧内は求職者。

大ドライヤーを
備えつけました。

「皆々様の化粧院」として
常に御最負に預ります平野水野化粧院は昨年オ
ン器を備えつけまして御満足を受けましたが、
更にこの度

「パーマネントセット」
「洗髪」「染色」

用として「ドライヤー」を設備致しました。
ドライヤーを御使用になればパーマネントセッ
トも洗髪も十分間以内にとどんな白赤毛でも
五分ごかゝらない、うちに物見事に仕
上ります。スピードを御好みの今日、どうぞ御利
用下さいませ。
尚ほ春のフェッショナルマツサチ美顔術にはオ
ン利用が第一で御座いますから、海に、山に、
或ひは遠く御旅行なさる時、或ひは御歸りの際
是非御顔の御手當に「水野」へ御立寄り下さる事
を御待ち申しております。

平 驛 前
水野化粧院
主 水野冬子
營業所 六七八番
自宅 五二五番

鯉職・武者人形
奉仕的大賣出し

尙武の節句に相應しい
五月人形・内職・飾物等
豊富に取揃ひてあります

◎立人形 四十錢ヨリ
◎内 職 一圓四十錢ヨリ

四 倉 仲 町
紙屋吳服店
人形部
電話百二十一番

青葉の頃
貴女様の美は
先づ
バルソルと
ハンドバツク
—その麗姿—その明朗—
店內に豊富陳列して御座います
ツルヤ
平 市
電一四〇番

祝 市 紀 念 特 賣
野 球 ク ロ ー プ ミ ッ ト
バ ッ ト 新 製 品
ユ ニ ホ ム
一 チ ャ ム は マ ー ク
サ ー ビ ス
ス バ イ ク
各 種 運 動 服 装
競 技 用 ス バ イ ク
平 市 田 町 銀 座 通 り
大 塚
電 話 七 十 七 番

魚 召 す ぶ ら
ヒ マ ル 凍 魚
鯛 マナ鯉 ワカサギ
エ ビ 甘 鯛 帆 立 貝
白 魚 カ ナ 頭 う に 貝 焼
日本産手特約(電話三八三六番)
卸 小 賣 平 製 氷 會 社
氷 運 送 車
新鮮な冷凍貝焼あります

氷は魚清!!!
電話四六七番へ
平二丁目警察署通り
本店 魚清氷卸部
主 鈴 木 庫 左 右
支店 江名町築港内
江名販賣所
電話六九番
(配達人数至急人用)

豆炭特賣
一、品川豆炭
大袋五貫匁入 金七十五錢
小袋壹貫匁入 金二十錢
品質豆炭界ノ最良品
壹袋カラ配達致シマス、ドウソ御用命願ヒマ
平 驛 前
電三七番
阿部石炭商店

三井タクシ
平市二丁目
電話六八五番

開院廣告
平市警察署側(元共濟病院跡)
院長 醫學博士 鈴木定藏
電六四二番
内 科 院長 醫學博士 鈴木定藏
小 兒 科 部長 醫學士 木下基一
産 婦 人 科 部長 醫學士 池谷宗三郎
皮膚泌尿器科 院長 醫學博士 鈴木定藏
物理的療法科 技師 岡田重徳
藥 劑 科 部長 藥劑師 吉本孝平
◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄
夜間診療ニ従事ス
往診隨時 入院隨時(自炊ノ便アリ)
病室完備 特等單圍、一等單圍五拾錢
入院料 一日 二等單圍參拾錢

中野齒科醫院
院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次
日本齒科 醫學士 西川 誠
診 療 科 目
一、齒科 一般
補綴科 保存科
齒列矯正科 小兒齒科
齒槽膿漏科 口腔外科
一、レントゲン科
◇看護婦至急募集
平市田町(松月堂向)
電話五〇九番

北川外科
平市新川町二七(諸橋醫院跡)
醫學博士 北川 芳夫
技 師 小林 良次
電話四六四番
内 科 一般 レントゲン科
内 臟 外 科 泌尿器科